

【第3章 大田区の将来像と将来都市像】

1. 大田区の将来像

地域力が区民の暮らしを支え、未来へ躍動する  
国際都市 おおた

※上位計画である基本構想と同一

2. 将来都市像

将来都市像（仮）

「住まう、働く、訪れる」大田区らしい景色が人々を惹きつける

【第4章 全体方針】と【第5章 部門別方針】の関係

第4章 全体方針

1. 都市づくりのテーマ

住む人・働く人・訪れる人、いづれにとっても魅力を感じることができる大田区をつくるためのテーマ

テーマA  
国際都市おおたの発展

アプローチ1. 国際都市おおたとして持続的に成長するため、拠点の形成や地域の魅力づくりを進める  
アプローチ2. ものづくり産業・商業などをはじめとした様々な産業が都市の発展を牽引する  
アプローチ3. 区民や国内外の来街者が円滑に移動できる広域的な交通環境づくりを進める

テーマB  
暮らしやすさと地域力の展開

アプローチ4. 職住が近接し、多様なライフスタイルに対応できる住環境を形成する  
アプローチ5. ライフスタイルに応じて様々な移動手段を選択できる地域交通ネットワークを形成する

テーマC  
安全・安心な生活の実現

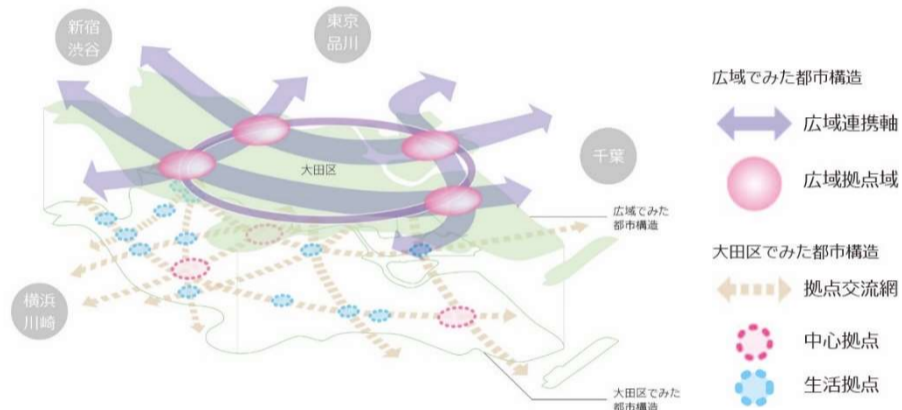
アプローチ6. 強靱な都市構造や市街地形成による減災都市づくりを進め、自然災害に対して安全で回復しやすい都市をつくる  
アプローチ7. 区民や国内外の来街者が安全・安心に活動できる都市づくりを進める  
アプローチ8. 緑とオープンスペースを活かした防災都市づくりを進める

テーマD  
地球に優しい環境の創出

アプローチ9. 水と緑のネットワークにより潤いとやすらぎのある都市づくりを進める  
アプローチ10. 持続可能な社会の基盤となる低炭素な都市をつくる

2. 目指すべき将来都市構造

東京圏における大田区の役割を整理した「広域でみた将来都市構造」と、区内の機能集積や拠点間交流などを整理した「大田区でみた将来都市構造」により構成



3. 土地利用方針

第5章 部門別方針

3. 施策と取組

「都市づくりのテーマ」と部門間の連携を図りつつ、将来都市像の実現に向けた取組を進める（テーマと部門別方針の主な対応を右図に示す）

1. 拠点整備	1.広域拠点域の都市づくり	3.生活拠点の都市づくり	5.環境に配慮した拠点整備	
	4.地区特性を活かし、複数の用途が融合した市街地整備の推進			
2. 交通	1.広域連携軸の形成	2.拠点交流網をはじめとした交通環境の整備	3.安全安心に暮らせる都市基盤の整備	6.環境に配慮した交通環境の整備
	4.誰もが利用しやすい交通環境の整備			
	5.多様な移動手段の導入			
3. 水と緑	2.公園・緑地づくり		1.水と緑のネットワークづくり	
			2.公園・緑地づくり	
			3.水を感じ活かす都市づくり	
4.グリーンインフラとしての緑やオープンスペースの活用				
5.環境に配慮した水と緑の整備				
4. 防災・復興	1.大規模災害に立ち向かう強靱な都市基盤整備			
	2.災害時の都市機能の早期回復	2.災害時の都市機能の早期回復		
	3.地域防災力の向上			
	4.復興まちづくりの推進			
	5.環境に配慮した防災都市づくり			
5. 住宅	1.住宅政策の推進			
	2.多様なライフスタイルを支える都市機能の充実			
	3.誰もが利用したい公共施設の整備			
	4.大田区らしい多彩なまちなみづくり		6.環境に配慮した住環境づくり	
	5.地域防犯力の向上			
6. 産業	1.工業集積の維持・発展と起業・創業の促進			
	2.商業集積によるまちの活性化			
	3.おおたの魅力を発掘・プロモーションとおもてなし環境の整備		4.環境に配慮した産業都市づくり	

【第6章 地域別方針】

テーマごとに地域別都市づくり方針を示す